

# 美郷町スポーツ協会

## これまでのあゆみ

美郷町スポーツ協会（当時は美郷町体育協会）は、旧邑智町と旧大和村が合併した平成16年10月の翌年に発足した。組織は、競技部と地域体育協会で構成されており、それぞれで事業を実施している。

各競技部の主な事業は、主催大会の開催と各種大会への参加等である。陸上部は、町駅伝大会を秋に開催しており、中学生から大人まで参加し、旧邑智町時代から続く伝統ある大会となっている。最近では走るコースを短くして参加しやすいよう工夫して開催している。

剣道部は、小中学生を対象とした「美郷町長杯争奪剣道大会」を開催している。新型コロナウイルスの影響で、中止や人数制限をした年もあったが、町内外から多くの剣士が集まる大規模な大会で、毎年恒例となっている。

バレー部と野球部は、小学生を対象とした大会を開催しており、こちらも町内外から参加チームがあり、にぎわいを見せている。その他の競技部も、大会の開催や町外大会へ参加するなど競技の普及と競技力の向上を目的に活動をしている。各地域体育協会は、主に秋の地区民運動会等を主催しているところが多く、その地域での健康増進活動を行っている。

## 現在の状況

現在、美郷町スポーツ協会は、陸上・バレー・野球・卓球・剣道・カヌー・スキー・ソフトテニス・ソフトバレー・グラウンドゴルフの10の競技部と6つの地域体育協会で組織されている。近年では、スポーツ少年団や中学校部活動の地域指導者として子どもたちの指導に大きく関わっている。中でも、剣道部・カヌー部においては、スポ少から一貫した指導を行っており、全国大会で上位入賞を果たす選手を育成し輩出している。



第16回美郷町長杯争奪剣道大会

## これから

町は、人口減少や高齢化といった問題を抱えており、それに伴う、各スポーツでの競技人口の減少といった、厳しい状況におかれている。そのような中で、美郷町は2030年に開催される「島根かみあり国スポ」のカヌー競技会場に選定されている。カヌー競技において、町から県代表となり好成績を残せる選手を輩出すべく、今後ますますジュニアの育成や選手の競技力向上に注力していく必要がある。美郷町スポーツ協会としても、地域スポーツの基盤として、町のスポーツ振興やスポーツ活動に寄与していくことが求められている。そのためにも、会員一人一人が地域スポーツの現状と課題を正確に捉え、意識改革を行い、美郷町スポーツ協会の機能強化を図っていく必要がある。



第18回みさと杯小学生バレーボール大会



沢谷地区民体育大会（沢谷体協）